

No. 3	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	2	東 出 洋 一	
<p>1. 住民の生活を守るための防犯意識の向上について</p> <p>ここ数年前から金銭に絡む特殊詐欺、強盗、殺人が多くメディアで取り上げられています。地方や都市部に関係なく犯罪がどこで起こるのか分からない時代となりました。犯人逮捕に役立っているのが防犯カメラであり、町として一人の被害者も出さないためにも防犯カメラの設置が喫緊の課題かと思えますので、以下3点について質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 過日、町長と町内会長とのふれあいトークで協議をしましたが、防犯カメラの設置に関する調査結果をいつ公表する予定なのか。</p> <p>(2) 防犯カメラ1台当たりの設置に係る費用と、国や北海道の補助制度の有無について。</p> <p>(3) 木古内町だけの問題ではないが、木古内警察署の統廃合化に関しては大きな心配ごとである。近隣町、町内の各種団体との連携が必要だと思いますが、現在どのような方向で進んでいるのかお伺いします。</p>			町 長
<p>2. 保健・医療・福祉の推進及び充実について</p> <p>町長は「先人に対して感謝すること」、「共に歩み続けること」、「挑戦し創造すること」の3つの基本姿勢を大切にされております。</p> <p>現特養いさりびは、設立当初は38床でスタートしましたが、当時経営的には黒字化は望めないと。しかしながら80床であればどうにか黒字化での経営ができるとの説明があり、増床計画について議会は了承しました。</p> <p>過日行われた総務・経済常任委員会において、入所者、短期入所、通所リハビリ含め介護報酬の改定により多少の増収となりましたが、今後人件費の上昇により経営が厳しくなり、関係機関と協議をしたいとの報告がありました。住民の健康と福祉を守るためにもどのように対応していくのか次の2点についてお伺いします。</p> <p>(1) 大変厳しい経営状況のなかでも7項目の施設整備が必要であり、福祉関係の補助事業で対応できるものがないと伺いました。全て自己財源で対応せざるを得ない状況ではありますが、設置者としてどのように考えているのか伺います。</p>			町 長 管理者

(2) 現在国保病院では、出張医師及び管理者の協力により研修医を受け入れる体制が整ったと伺っておりますが、常勤医師確保の目途はどのような状況なのか。